

内閣官房・内閣府本府等行政事業レビュー「公開プロセス」(結果)

【速報】

No.	事業名	評価結果	内 訳	取りまとめコメント	
①	出版諸費	事業全体の抜本的な改善	廃止	—	情報手段が非常に多様化している中で、紙媒体による広報への国民のニーズを分析することが必要である。それを踏まえて、各メディア、各広報手段の位置付けの再検討が必要であり、また、それぞれの場合において、的確な効果測定がなされるように大幅な見直しが必要である。
			事業全体の抜本的な改善	5	
			事業内容の一部改善	1	
			現状通り	—	
②	遺棄化学兵器廃棄処理事業経費	事業内容の一部改善	廃止	—	事業自体が特殊であることに加えて中国国内で行われているという点でも非常に特異な事業であるが、少なくとも現時点で日本企業が受注している部分については、市場での競争性を通じて効率性が追求できるように手立てを講じる必要がある。また、コストの中身についてもできる限り見直しを図る努力が必要である。
			事業全体の抜本的な改善	—	
			事業内容の一部改善	6	
			現状通り	—	
③	赤坂・京都迎賓館参観経費	事業内容の一部改善	廃止	—	迎賓館は新たに観光資源として位置付けられ、参観は賓客接遇という本来業務とは期間を区分けして対応することとなる。その際、参観者への対応と賓客の接遇機能との調整を十分に図りながら、これを進める必要がある。本件の参観経費についてはまだ過渡期ではあるが、従来の限定した公開時の対応や契約形態等にとらわれることなく、通年公開によって増えるコストの抑制について、参観料のレベルも含めて検討していく必要がある。
			事業全体の抜本的な改善	2	
			事業内容の一部改善	4	
			現状通り	—	
④	地域少子化対策強化事業	事業内容の一部改善	廃止	1	国自身が定量的な目標を設定していないこと、また、各自治体の個々のアイデアについても効果の分析が必要であることなど、全体に効果の測定が不十分と指摘せざるを得ない。また、継続的な効果発揮のためには、地域の体制整備や人材育成にも目を向ける必要がある。全体として総合調整の視点からの見直しが必要である。
			事業全体の抜本的な改善	2	
			事業内容の一部改善	3	
			現状通り	—	